

演劇検閲研究の現状と課題

検閲、演劇、GHQ、ダイザーコレクション、貫戦期

川崎 賢子

本号第一特集は演劇における検閲研究となった。本特集が対象とするのは、貫戦期における検閲制度の変容とその現場資料の分析である。そのうえで、戦前戦中における演劇検閲とGHQ占領期における演劇検閲との連続と断絶に対する関心は、従来の演劇検閲研究に新たな視角を導入することになったといっても過言ではない。それによって検閲の制度と運用の歴史的な連続、再編、断絶を通観しようという問題意識が生まれた。また、その過程で、出版メディア、映像メディアにおける検閲を参照しつつ、演劇検閲の特徴をあぶりだすという学際的な手法も用いられるようになった。プランゲ文庫、ダイザーコレクションなどGHQ占領期の検閲資料も活用されて現在にいたる。